

あだち鉄道まつりで 「福祉体験」

北千住マルイとシアター1010にて「あだち鉄道まつり」が行われました。主催は北千住マルイ・NPO ナナツホシ・足立区社会福祉協議会（以下、社協という）。駅員の仕事体験、鉄道模型体験などに多くの方が笑顔で参加されていました。

社協の福祉ブースでは、限られたスペースで体験できるVR※車いす体験、視覚障がい当事者から学ぶ身近なユニバーサルデザインなどを実施しました。たくさんの方が福祉を知り、考える機会につながったのではないのでしょうか。



駅構内で車いすを利用したらどう感じるか。VR※車いす体験では、高校生ボランティアの加来さんが操作方法をやさしく教えてくださいます。

※VRとは…「Virtual Reality(バーチャル・リアリティー)」の略で、「仮想現実」とも呼ばれています。専用のゴーグルで360°の映像を映すことで、実際にその空間にいるような感覚を得られます。



身近なユニバーサルデザインについて、視覚障がい当事者の成川さんが教えてくださいました。誰にとっても使いやすい設計になっています。



様々な障がいの特性や私たちができることを伝える動画は、新潟県の燕市社協が作成。心の垣根を越える取り組みは全国各地で行われています。

取材日：令和5年8月12日・13日 ブース参加者数：250名

取材メモ：2日間で5,000名が参加したイベント。たくさんの親子が笑顔で各ブースを回っていた姿が印象的でした。（足立社協 田嶋亮太郎・飯村真稀）

問合せ先：地域福祉課 ☎6807-2460 FAX5681-3374